

暮らしの中のジェンダー平等



～家庭から社会へ

全2回

私たちの日々の暮らしの中には、夫は仕事優先、妻は家事、育児、介護といったように、さりげなくジェンダー役割が隠されています。社会の縮図としての家庭と、社会との関わりを考える連続講座です。

第1回

2025年

6/21



午後1時～3時
(開場：15分前)

家族の人生をもっと自由にするチーム力を高める！ ～家族のための家事シェアの法則

家族全員が共に家事をするという意識を持ち、家庭や地域生活においてやりがいを得ながら、心身ともに健康で充実した暮らしができるよう、家事シェアの概要、具体的な方法、家族とのコミュニケーションの取り方等について、グループワークを通じて考えます。

第2回

2025年

6/29



午後1時～3時
(開場：15分前)

家庭内の役割格差を考える

日本の女性が家庭内労働時間が長く睡眠時間が短いといわれるのは、家庭内の役割に男女格差があるためです。結婚、進学、就労、育児、介護など、家庭生活における身近なテーマを取り上げ、わたしたちの社会や文化のあり方についてジェンダーの視点から考えます。



申し込み・問い合わせ：葛飾区男女平等推進センターTel. 03-5698-2211

講師紹介

◆第1回◆

三木智有（みきともあり）さん

NP0法人tadaima!代表 家事シェア研究家 インテリアコーディネーター
東京都男女共同参画審議会委員

リフォーム会社でインテリアプランニング、施工管理、営業販売などの業務を経て独立。フリーのコーディネーターとしてマンションオプションの販売、内装工事、個人宅のコーディネートなどを行う。

2011年、家は家族にとって何より”自分らしくいられる居場所”であって欲しい。そうした思いから、「10年後も”ただいま!”と帰りたいなる家庭」で溢れた社会の実現を目指し、NP0法人tadaima!を起業。日本唯一の家事シェア研究家として、家事シェアを広める活動を行う。著書に『家事でモメない部屋づくり』『家族全員自分で動くチーム家事』がある。



◆第2回◆

石井クンツ昌子（いしいくんつまさこ）さん

お茶の水女子大学理事・副学長



ワシントン州立大学で博士号取得後、カリフォルニア大学リバーサイド校で20年間教鞭を執り、2006年にお茶の水女子大学に着任。2020年にお茶の水女子大学名誉教授。2021年から現職。2022年からはジェンダード・イノベーション研究所長を兼務。専門は家族社会学とジェンダー研究で、1980年代初頭から日本、米国、北欧諸国にて父親の家事・育児や家庭内性別役割分業について研究を重ね、2012年に全米家族関係学会の国際的な家族社会学研究者へ贈られる「Jan Trost賞」を受賞。日本家族社会学会会長、日本社会学会理事、日本家政学会家族関係部会役員、日本学術会議連携会員、内閣府男女共同参画会議専門委員などを歴任。著書：『「育メン」現象の社会学：育児・子育て参加への希望を叶えるために』など多数。

☆対 象

どなたでも 30名 先着順

★会 場

※カップル、家族の参加歓迎
葛飾区男女平等推進センター
(立石5-27-1 ウィメンズパル内)

☆受講料

無料

★保 育

あり(1歳以上就学前まで)定員6名

☆申込方法

電話またはオンライン申請にて
5月19日(月) 9時より受付開始。

※保育希望の方は6月10日(火)までに
お申し込みください。

電子申請は
こちらから



申し込み・問い合わせ：葛飾区男女平等推進センター
124-0012 葛飾区立石5-27-1 ウィメンズパル内 Tel. 03-5698-2211